

～仲間が作った受精卵～ 出張移植してきました

経産牛 4/8(ホル卵 3/4 無登録和牛 1/4)
未経産 3/3(ホル卵 2/2 無登録和牛 1/1)

(ホル卵は THMS ラボ生産)

お世話になっている取引先のご子息から、購入したホル卵製造元の弊社に相談があり、新規就農のお祝いをかねて受精卵を移植してまいりました。



ダブルオブシンクで 11 頭を同期化し結果は上記のとおりでした。

- ✓ 猛暑の続く 7 月上旬の移植であったこと
- ✓ 分娩後初回の牛に処置を開始して 70 日前後での受胎であったこと
- ✓ リピートブリーダーが受胎できたこと
- ✓ 春産みが 7 頭得られたこと
- ✓ なにより中標津の工藤さんから購入した 3 種類すべてが受胎したこと

この結果は、最新の知見や技術の取得に余念のない経営者のたゆまぬ努力が実を結んだものであることは言うまでもありません。

とても喜んでもらうことができた今回の出張移植。夏場の繁殖に移植が有効であることがあらためて実証できて、こちらもうれしくなりました。

2024 年実績と今後の展望

皆様のご理解とご協力により、2024 年は移植頭数 8,500 頭、移植受胎率 50%を達成。(ほぼ経産牛への移植、体外受精卵使用率約 90%)。「後継牛の計画的確保と付加価値の高い子牛生産」を実現する体制が整いつつあります。ラボとの情報交換や勉強会の開催、移植試験などをおして顧客満足度と受胎率の向上を狙います。

トータルハードに席を置いてはや 3 年。

職場環境の改善と、仲間と共に更なる高みを目指せるよう、引き続き尽力します。

受精卵移植 ≧ 人工授精 この流れは今後ますます拡大しそうな予感です。

文責 授精課 川井